

第 2 期

鹿児島市商工業振興プラン

～鹿児島市中小企業振興条例に基づく基本計画～

<概要版>

●プランの位置づけ

鹿児島市商工業振興プランは、鹿児島市総合計画の商工業分野の分野別計画として、今後の本市商工業振興の基本計画となるものであり、市、国・県など関係機関、民間、大学等が一体となって取り組むものです。

また、鹿児島市中小企業振興基本条例に規定する基本計画となるものです。

●プランの計画期間

第2期鹿児島市商工業振興プラン(以下、「本プラン」という。)の計画期間は、令和4年度から令和 13 年度までの 10 年間です。

第六次鹿児島市総合計画(計画期間:令和 4 年度～令和 13 年度までの 10 年間)の管理・進捗と連動させながら、今後の社会経済情勢の変化や施策の推進状況等を踏まえ、状況に応じて見直しなどを行います。

●プランの構成

本プランは、「本編(第 1 章～第 5 章)」と「重点プロジェクト」で構成します。

「本編」は、本市商工業の現状と課題などを踏まえ、計画期間 10 年間で実現を目指す「本市商工業の将来像」と、その将来像の実現に向けた「展開シナリオ」を示し、展開シナリオを推進するための「施策体系(施策の柱・取組方針・取組内容)」を位置づけています。

「重点プロジェクト」は、本プランの施策体系の中でも重点的に取り組むものについて、概ね当初 5 年間で実現を目指す重点プロジェクトとして位置づけるものです。「重点プロジェクト」は、第六次鹿児島市総合計画の前期基本計画(計画期間:令和 4 年度～令和 8 年度)と連動させながら推進します。

●現状・課題を踏まえた本市商工業振興の方向性

本市商工業を取り巻く 社会経済情勢の変化

■人口減少・少子高齢化の進行

- ・経済規模や商工業の基盤の縮小
- ・生産性向上、高付加価値化の必要性
- ・人手不足の懸念

■持続可能な社会の実現

- ・時代の要請に応じた新技術・サービスの開発・事業化等の必要性

■国際社会における人流・物流・ 商流の変化

- ・国外需要を的確に取り込む重要性

■デジタル社会の進展

- ・生産性向上と高付加価値化を促進するデジタル化の必要性
- ・デジタル人材の確保と育成の重要性

■自然災害等のリスクの増大

- ・レジリエンスの高い経済活動の必要性

■新型コロナウイルス感染症拡大 による社会変容

- ・経済全体での停滞感・閉塞感
- ・外需のみに依存しない事業構造、社会変容に対応した事業展開の必要性

■厳しい財政状況における協働の 重要性

- ・企業、経済団体、大学等研究機関、支援機関などの協働、創造的なネットワークの重要性

■多様な働き方の広がり

- ・柔軟な就業形態と環境整備の必要性
- ・ワーク・ライフ・バランスと生産性向上の両立の重要性

本市商工業のあゆみと現状

(本市商工業の10年間のあゆみ)

- ✓ 第1期プランに基づく取組を着実に推進も、人口減少・少子高齢化が進行、新型コロナウイルス感染症が拡大、「稼ぐ」ことが重要課題に

(本市商工業に関する気質・組織風土)

- ✓ 安定志向で保守的・内向的な風土・道徳観など、経済活動において消極的な一面
- ✓ 「郷土愛」、「実直さ」が特長、進取性や逆境を跳ね返す精神性も通底

(本市商工業の概況)

- ✓ 小規模事業所が多く、事業主の高齢化が進み、事業承継が課題
- ✓ 製造業は、食料品製造業の比率が高い、ただし、高付加価値化が課題
- ✓ 新たな販路の拡大とより自立的な地域経済の形成が課題

(市内商工業への新型コロナウイルス感染症拡大の影響／事業主の意向等)

- ✓ 観光関連産業、飲食業を中心に市内企業全般に深刻な影響（売上減）
- ✓ 社会変容に対応した事業展開・商品開発・業務業態変化の志向は高い
- ✓ 近年の販路に大きな変化が見られず、海外展開を行う事業者も少ない
- ✓ 「魅力ある商品・サービスの開発」、「経費削減」、「マーケティング、プロモーションの強化」の必要性を感じている事業主が多い、IT化に遅れ
- ✓ 地域資源の活用（同業種間・異業種間連携）を期待する事業主が多い

(市内における交流・連携・創発の取組)

- ✓ 産学連携による共同研究・実用化検討の取組「かごしまtechミーティング」（鹿児島大学産学・地域共創センター）、「mark MEIZAN（マークメイザン）」の運営、クリエイティブ、スタートアップなどに着眼した取組等を推進

(市内企業の就業環境)

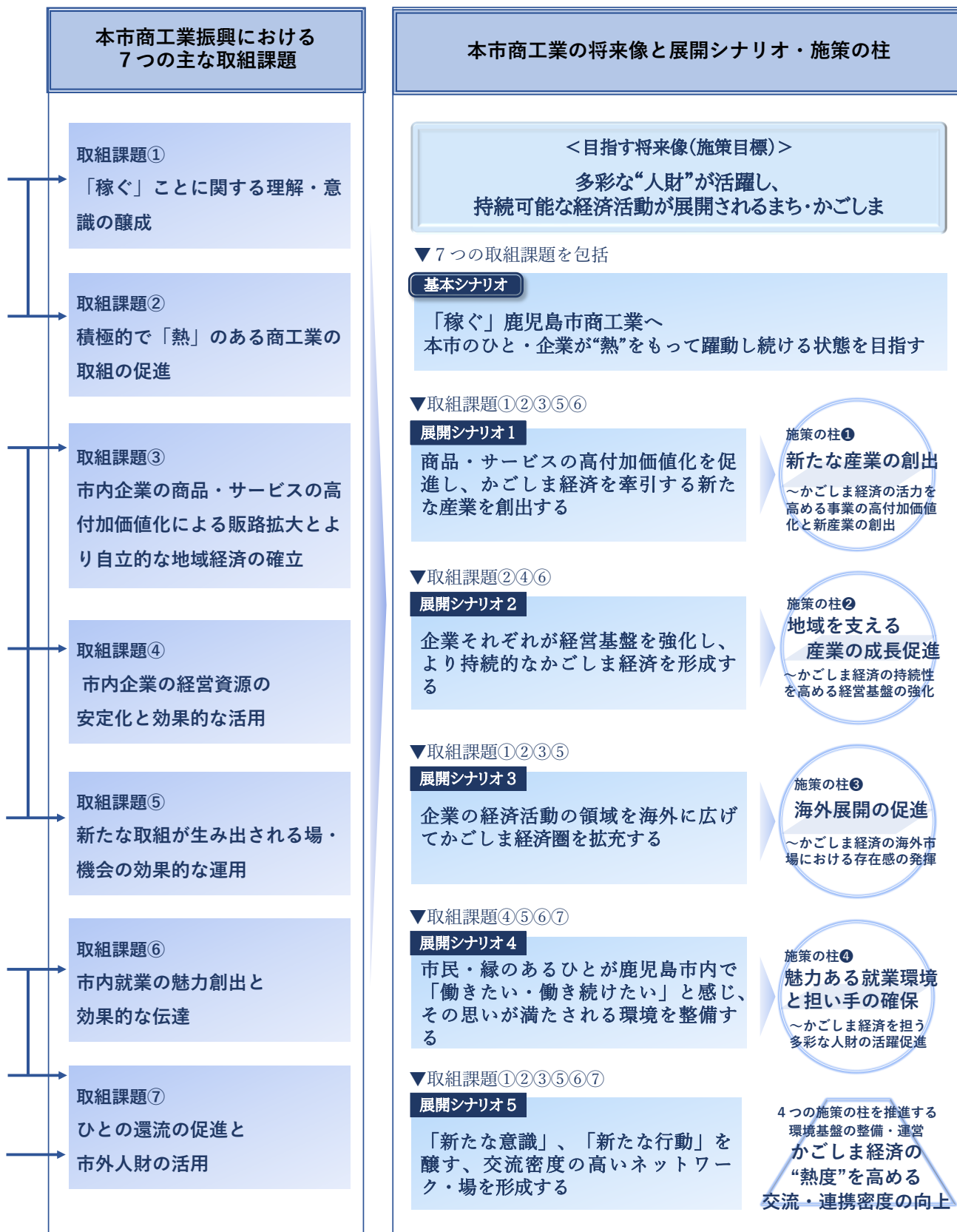
- ✓ インターン等の取組はあるが、市内企業の効果実感はそれほど高くない
- ✓ 多様な働き方への対応、女性活躍・男女共同参画の取組はあまり進んでいない

(市内企業への就職動向)

- ✓ 地元志向の高まり、企業等との接点・企業等の情報提供などが求められる

(市外大都市圏に在住する本市出身者の意向)

- ✓ 鹿児島市で働きたいと思っている人は多いが、仕事がない・条件が合わないと感じられており、働く場の確保・働きやすい環境づくり・これらのPRが不足



●本市商工業の目指す将来像と基本シナリオ

<目指す将来像(施策目標)>

多彩な“人財”が活躍し、持続可能な経済活動が展開されるまち・かごしま

本市商工業の将来像の実現に向けて、本市商工業を振興する基本シナリオとして、以下を設定します。

基本シナリオ

「稼ぐ」鹿児島市商工業へ

本市のひと・企業が“熱”をもって躍動し続ける状態を目指す

➡ どのように「稼ぐ」か？（「稼ぐ」ための大切な視点）

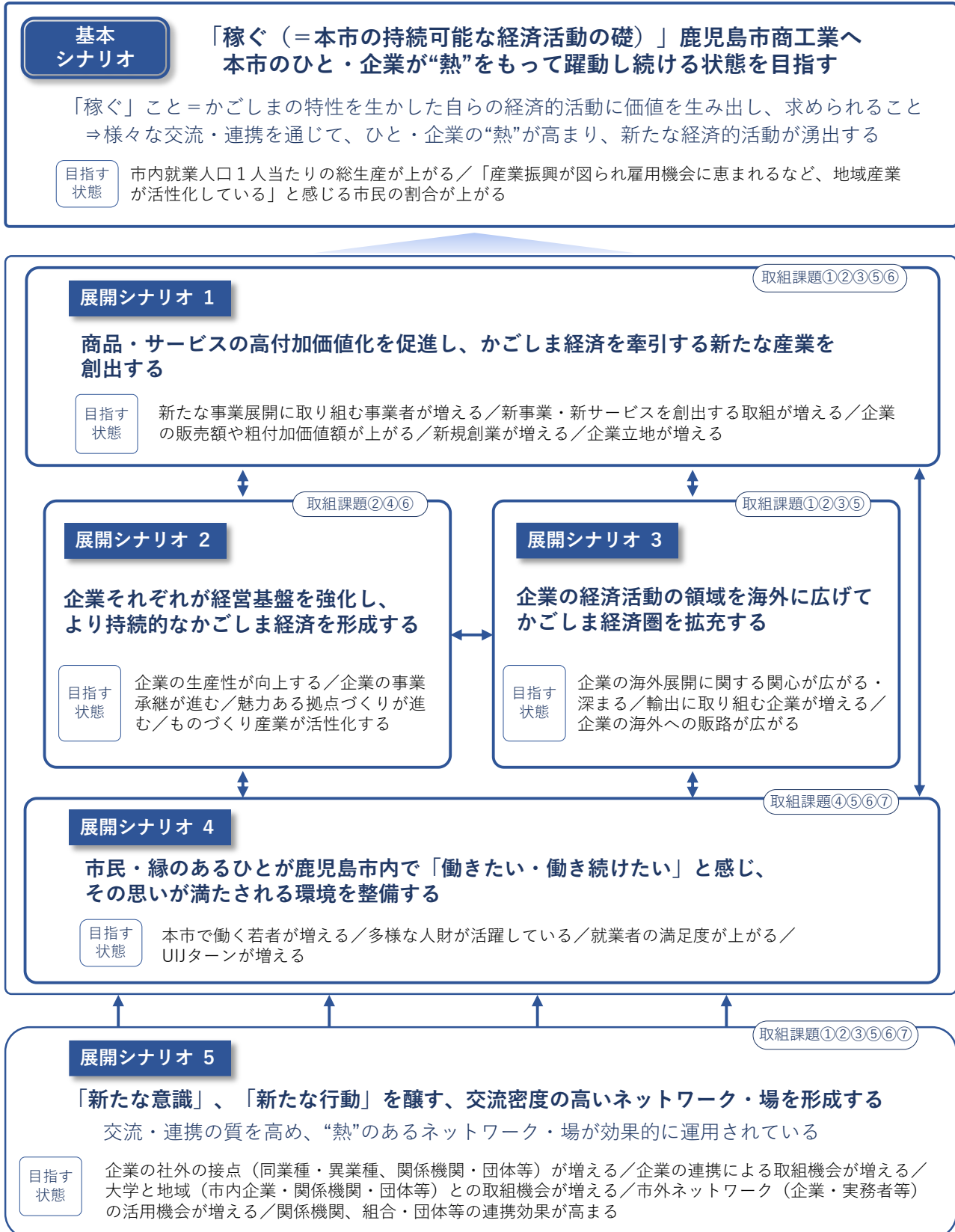
- ① 商品・サービスの高付加価値化を図る、新たな産業を創出することで売上・収益を上げる
 - ② 経営基盤を強化することで、収益を上げる、事業の持続性を高める
 - ③ 経済活動の領域を海外に広げることで、売上・収益を上げる
 - ④ 働きやすい環境を向上させ、ひとの活躍機会を増やすことで、事業の持続性・活力を高める
- ▲
- ⑤ 上記①～④のために、様々な交流・連携を通じて、ひと・企業の“熱度”を高める

▶▶▶ 基本シナリオ:「稼ぐ」鹿児島市商工業の主要指標

基本シナリオ主要指標		現況(基準年)		目標(R13)		算出方法	
主要指標 ①	市内就業人口1人当たりの総生産	6,534 千円 (H29)	➡	7,809 千円	鹿児島市統計書		
主要指標 ②	「産業振興が図られ雇用機会に恵まれるなど、地域産業が活性化している」と感じる市民の割合	13.5% (R3)	➡	50.0%	市民意識 アンケート調査		

●本市商工業振興の展開シナリオ

基本シナリオは、以下の5つの展開シナリオにより構成します。1～5の展開シナリオは、相互作用の関係にあり、それぞれの展開シナリオの運動を高めていくことを意識した施策を展開します。



基本シナリオ

< 目指す将来像（施策目標） >
多彩な“人財”が活躍し、
持続可能な経済活動が展開されるまち・かごしま

展開シナリオ 1

施策の柱①

新たな産業の創出

～かごしま経済の活力を高める
事業の高付加価値化と新産業の創出

展開シナリオ 2

施策の柱②

地域を支える
産業の成長促進

～かごしま経済の持続性を高める
経営基盤の強化

展開シナリオ 3

施策の柱③

海外展開の促進

～かごしま経済の海外市場における
存在感の発揮

展開シナリオ 4

施策の柱④





魅力ある就業環境と
担い手の確保

～かごしま経済を担う
多彩な人財の活躍促進

展開シナリオ 5

< 4つの施策の柱を推進する環境基盤の整備・運営 >
かごしま経済の“熱度”を高める交流・連携密度の向上

施策体系

施策の柱	取組方針	主な取組内容	施策の柱とSDGsとの関係
施策の柱① 新たな産業の創出	1 付加価値の高い新たなビジネスの創出	<input type="checkbox"/> かがしまの豊かな資源を生かした新事業・新サービスの創出 <input type="checkbox"/> 食・ヘルスケア・環境分野をはじめとする新たなビジネス創出 <input type="checkbox"/> 高付加価値の創出支援(人材の活用と育成) <input type="checkbox"/> 付加価値向上に資する情報発信	
	2 新規創業の促進	<input type="checkbox"/> 多様な創業に関する情報発信 <input type="checkbox"/> 創業(新たな創業/第2創業)に関する相談等の支援 <input type="checkbox"/> 創業後の事業継続に向けた相談等の支援	
	3 戦略的な企業立地の推進	<input type="checkbox"/> かがしま経済の競争力強化に資する企業立地の推進 <input type="checkbox"/> 企業立地の受入体制・環境の拡充 <input type="checkbox"/> 企業立地に関する情報発信・立地活動の推進	
施策の柱② 地域を支える産業の成長促進	1 事業活動の安定・合理化・生産性の向上	<input type="checkbox"/> デジタイゼーションやデジタルトランスフォーメーション(DX)の情報発信・推進支援 <input type="checkbox"/> マーケティング力の強化に関する情報発信・推進支援 <input type="checkbox"/> 業務改善手法等の情報発信・推進支援 <input type="checkbox"/> 事業活動の持続化に関する支援	
	2 経営力(経営基盤のマネジメント)の強化	<input type="checkbox"/> 経営・マネジメントに関する啓発・推進支援 <input type="checkbox"/> 経営者間のコミュニケーションの促進	
	3 円滑な事業承継の推進	<input type="checkbox"/> 事業承継に関する情報発信 <input type="checkbox"/> 事業承継を支援する体制(連絡調整機能)の充実 <input type="checkbox"/> 円滑な事業承継(親族間/第三者)の推進	
	4 魅力ある地域拠点づくりの推進	<input type="checkbox"/> 多様な視点、アイデアを活用した新たなにぎわい拠点形成の推進 <input type="checkbox"/> 街なかへの出店・創業の促進 <input type="checkbox"/> 商店街等組織の強化	
	5 ものづくり産業の活性化支援	<input type="checkbox"/> 伝統的工芸品関連産業の認知度向上と販路拡大 <input type="checkbox"/> 生産者の技術向上と後継者育成の支援	
施策の柱③ 海外展開の促進	1 海外への販路拡大	<input type="checkbox"/> 海外市場(トレンド・ニーズ等)に関する情報提供 <input type="checkbox"/> 海外展示会・商談会への出展支援 <input type="checkbox"/> ECサイトの多言語化など海外への情報発信支援 <input type="checkbox"/> 海外取引実務に関するノウハウ習得機会の提供 <input type="checkbox"/> かがしまの資源を活用した商品等の海外展開支援機能(地域商社)の育成支援	
施策の柱④ 魅力ある就業環境と担い手の確保	1 就業環境の向上支援と就業者の活躍促進	<input type="checkbox"/> 市内企業の仕事の魅力の再定義・情報発信に関する支援 <input type="checkbox"/> 職場環境の向上と柔軟な働き方への対応に関する支援 <input type="checkbox"/> 多様な人材(シニア・女性など)の活躍の促進	
	2 かがしまの商工業の発展を担う人材の確保	<input type="checkbox"/> 大学生の地域連携活動、地域課題解決への関与促進 <input type="checkbox"/> 若者の地元定着促進 <input type="checkbox"/> UIJターンの促進	

【施策の柱①】 新たな産業の創出

かごしま経済の活力を高め、本市経済を牽引するため、事業の高付加価値化を促進し、地域資源などを生かした新産業を創出します。

取組方針 1 付加価値の高い新たなビジネスの創出

主な取組内容	主な連携・協働先		
	関係機関 ※1	民間 ※2	大学等 ※3
<input type="checkbox"/> かごしまの豊かな資源を生かした新事業・新サービスの創出	●	●	●
<input type="checkbox"/> 食・ヘルスケア・環境分野をはじめとする新たなビジネス創出	●	●	●
<input type="checkbox"/> 高付加価値の創出支援(人材の活用と育成)	●	●	●
<input type="checkbox"/> 付加価値向上に資する情報発信	●	●	

※1 関係機関：国、県、独立行政法人、商工業関連支援機関 等

※2 民間：経済団体、組合、金融機関 等

※3 大学等：大学、専門学校、高校 等

取組方針 2 新規創業の促進

主な取組内容	主な連携・協働先		
	関係機関	民間	大学等
<input type="checkbox"/> 多様な創業に関する情報発信	●	●	
<input type="checkbox"/> 創業(新たな創業/第二創業)に関する相談等の支援	●	●	
<input type="checkbox"/> 創業後の事業継続に向けた相談等の支援	●	●	

取組方針 3 戦略的な企業立地の推進

主な取組内容	主な連携・協働先		
	関係機関	民間	大学等
<input type="checkbox"/> かごしま経済の競争力強化に資する企業立地の推進	●		
<input type="checkbox"/> 企業立地の受入体制・環境の拡充	●	●	●
<input type="checkbox"/> 企業立地に関する情報発信・立地活動の推進	●		

▶▶▶ 施策の柱①の取組により目指す状態と主要指標

目指す状態(再掲)		現況(R2)		目標(R13)	算出方法
○ 新たな事業展開に取り組む事業者が増える					
主要指標	新たな事業展開に取り組む事業者数	17 事業者	➡	220事業者	
○ 新事業・新サービスを創出する取組が増える					
主要指標	新事業・新サービスへの取組数	2 件	➡	70 件	
○ 企業の販売額や粗付加価値額が上がる					
主要指標	1 事業者当たりの食品製造業における粗付加価値額(従業者4人以上)	30,301 万円	➡	38,816 万円	県工業統計
○ 新規創業が増える					
主要指標	本市支援による新規創業者数	33事業者	➡	360 事業者	
○ 企業立地が増える					
主要指標	企業立地件数	8 件	➡	80 件	

【施策の柱②】 地域を支える産業の成長促進

かごしま経済の活力を高め、本市経済を牽引するため、事業の高付加価値化を促進し、地域資源などを生かした新産業を創出します。

取組方針 1 事業活動の安定・合理化・生産性の向上

主な取組内容	主な連携・協働先		
	関係機関	民間	大学等
<input type="checkbox"/> デジタイゼーションやデジタルトランスフォーメーション(DX)の情報発信・推進支援	●	●	
<input type="checkbox"/> マーケティング力の強化に関する情報発信・推進支援	●	●	
<input type="checkbox"/> 業務改善手法等の情報発信・推進支援	●	●	
<input type="checkbox"/> 事業活動の持続化に関する支援	●	●	

取組方針 2 経営力(経営基盤のマネジメント)の強化

主な取組内容	主な連携・協働先		
	関係機関	民間	大学等
<input type="checkbox"/> 経営・マネジメントに関する啓発・推進支援	●	●	
<input type="checkbox"/> 経営者間のコミュニケーションの促進	●	●	

取組方針 3 円滑な事業承継の推進

主な取組内容	主な連携・協働先		
	関係機関	民間	大学等
<input type="checkbox"/> 事業承継に関する情報発信	●	●	
<input type="checkbox"/> 事業承継を支援する体制(連絡調整機能)の充実	●	●	
<input type="checkbox"/> 円滑な事業承継(親族間/第三者)の推進	●	●	

取組方針 4 魅力ある地域拠点づくりの推進

主な取組内容	主な連携・協働先		
	関係機関	民間	大学等
<input type="checkbox"/> 多様な視点、アイデアを活用した新たなにぎわい拠点形成の推進		●	●
<input type="checkbox"/> 街なかへの出店・創業の促進	●	●	
<input type="checkbox"/> 商店街等組織の強化	●	●	

取組方針 5 ものづくり産業の活性化支援

主な取組内容	主な連携・協働先		
	関係機関	民間	大学等
<input type="checkbox"/> 伝統的工芸品関連産業の認知度向上と販路拡大	●	●	
<input type="checkbox"/> 生産者の技術向上と後継者育成の支援	●	●	

▶▶▶ 施策の柱②の取組により目指す状態と主要指標

目指す状態(再掲)		現況(R2)	目標(R13)	算出方法
○ 企業の生産性が向上する				
主要指標	先端設備等導入計画の認定件数	14件	➡	180件
○ 企業の事業承継が進む				
主要指標	事業所数	27,279 事業所(H28)	➡	27,300 事業所(R8)
○ 魅力ある拠点づくりが進む				
主要指標	中心市街地の店舗のうち営業している店舗の割合	89.4%	➡	93.1%
市空き店舗実態調査				
○ ものづくり産業が活性化する				
主要指標	1事業所当たりの製造品出荷額等(従業者4人以上)	76,254 万円(H30)	➡	91,125 万円
県工業統計				

【施策の柱③】 海外展開の促進

かごしま経済の活力を高め、本市経済を牽引するため、事業の高付加価値化を促進し、地域資源などを生かした新産業を創出します。

取組方針 1 海外への販路拡大

主な取組内容	主な連携・協働先		
	関係機関	民間	大学等
<input type="checkbox"/> 海外市場(トレンド・ニーズ等)に関する情報提供	●	●	
<input type="checkbox"/> 海外展示会・商談会への出展支援	●	●	
<input type="checkbox"/> EC サイトの多言語化など海外への情報発信支援	●	●	
<input type="checkbox"/> 海外取引実務に関するノウハウ習得機会の提供	●	●	
<input type="checkbox"/> かごしまの資源を活用した商品等の海外展開支援機能(地域商社)の育成支援	●	●	

▶▶▶ 施策の柱③の取組により目指す状態と主要指標

目指す状態(再掲)		現況(R2)	目標(R13)	算出方法
○ 企業の海外展開に関する関心が広がる・深まる				
主要指標	関連セミナー参加状況	15社(R元)	➡	145社
○ 輸出に取り組む企業が増える				
主要指標	海外の見本市等への延出展事業者数	12社	➡	250社
○ 企業の海外への販路が広がる				
主要指標	本市の事業活用による海外展開を伴う商談成約件数	10件	➡	160件

【施策の柱④】 魅力ある就業環境と担い手の確保

市民や本市出身者が本市で「働きたい・働き続けたい」と感じ、その思いが満たされる環境を整え、かごしま経済を担う多彩な人財の活躍を促進します。

取組方針 1

就業環境の向上支援と就業者の活躍促進

主な取組内容	主な連携・協働先		
	関係機関	民間	大学等
<input type="checkbox"/> 市内企業の仕事の魅力の再定義・情報発信に関する支援	●	●	●
<input type="checkbox"/> 職場環境の向上と柔軟な働き方への対応に関する支援	●	●	
<input type="checkbox"/> 多様な人材(シニア・女性など)の活躍の促進	●	●	

取組方針 2

かごしまの商工業の発展を担う人材の確保

主な取組内容	主な連携・協働先		
	関係機関	民間	大学等
<input type="checkbox"/> 大学生の地域連携活動、地域課題解決への関与促進	●	●	●
<input type="checkbox"/> 若者の地元定着促進	●	●	●
<input type="checkbox"/> UIJ ターンの促進	●	●	

▶▶▶ 施策の柱④の取組により目指す状態と主要指標

目指す状態(再掲)		現況(R2)	目標(R13)	算出方法
○ 本市で働く若者が増える				
主要指標	鹿児島公共職業安定所(ハローワークかごしま管内)の新規学卒者の県内就職率	65.1%	➡ 67.9%	鹿児島公共職業安定所統計
○ 多様な人材が活躍している				
主要指標	女性の採用を積極的に行っている市内事業所の割合	55.1% (H30)	➡ 75.9%	鹿児島市勤労者労働基本調査
主要指標	市内事業所における女性管理職の割合	—	➡ 24.8%	鹿児島市勤労者労働基本調査
主要指標	障がい者を雇用している市内事業所の割合	16.1% (H30)	➡ 22.2%	鹿児島市勤労者労働基本調査
主要指標	外国人労働者を雇用している市内事業所の割合	5.4% (H30)	➡ 5.8%	鹿児島市勤労者労働基本調査
○ 就業者の満足度が上がる				
主要指標	時間外勤務の削減に関する取組を実施している市内事業所の割合	88.8% (H30)	➡ 100%	鹿児島市勤労者労働基本調査
○ UIJ ターンが増える				
主要指標	本市の移住支援金支給件数	8 件	➡ 60 件/年	
主要指標	本市の移住関連施策を通じた移住者数	121 人/年	➡ 10 年間で 1,200 人	

●第2期商工業振興プランの管理・推進体制

かごしま経済の“熱度”を高める交流・連携密度を高め、4つの施策の柱の実行性を確保しながら、本プランを効果的に推進するため、「鹿児島市中小企業振興推進会議」と「熱度マネジメント会議」の2つの会議体を運営します。

「鹿児島市中小企業振興推進会議」

～本プラン全体のPDCAを機能させる

本プランの着実な推進に向けて、施策の実施状況や成果指標の達成状況等を確認し、施策の見直しや新たな施策展開等について大局的な視点から意見・提案を行います。年1回の開催を予定します。

【内容(予定)】

- 各施策の実施状況の把握
- 前年度の成果指標の達成状況の確認と評価
- 達成状況に応じた施策等の見直し、新たな施策等の提案
- 「熱度マネジメント会議」の協議結果に関する情報共有 等

「熱度マネジメント会議」

～鹿児島市商工業(を担う方々)の「熱度」を高め、重点プロジェクトの実行性を高める

鹿児島市商工業を担う方々(関係団体・関係機関・市内事業者等)が集い・交わり、多彩なコミュニティを生み・育み、本会議内外を通じて自発的・主体的なコミュニケーションが図られる場として運営します。

また、重点プロジェクトに位置付けられる施策の実行性を高める役割を担うとともに、重点プロジェクトのPDCAを担います。議論・取組の成果等は、「鹿児島市中小企業振興推進会議」で共有し、プラン全体の進捗管理にも活用します。

【開催頻度】

年2回の定例開催を予定(定例会議)

定例会議に関連するサロンのようなプログラムを随時開催

※重点プロジェクトの実行性を高める具体的な取組の展開に向けた検討も実施

※定例会議以外のサロンのようなプログラムも参加者主体で企画・運営(必要に応じて、市外のかごしま人財も巻き込みながら)

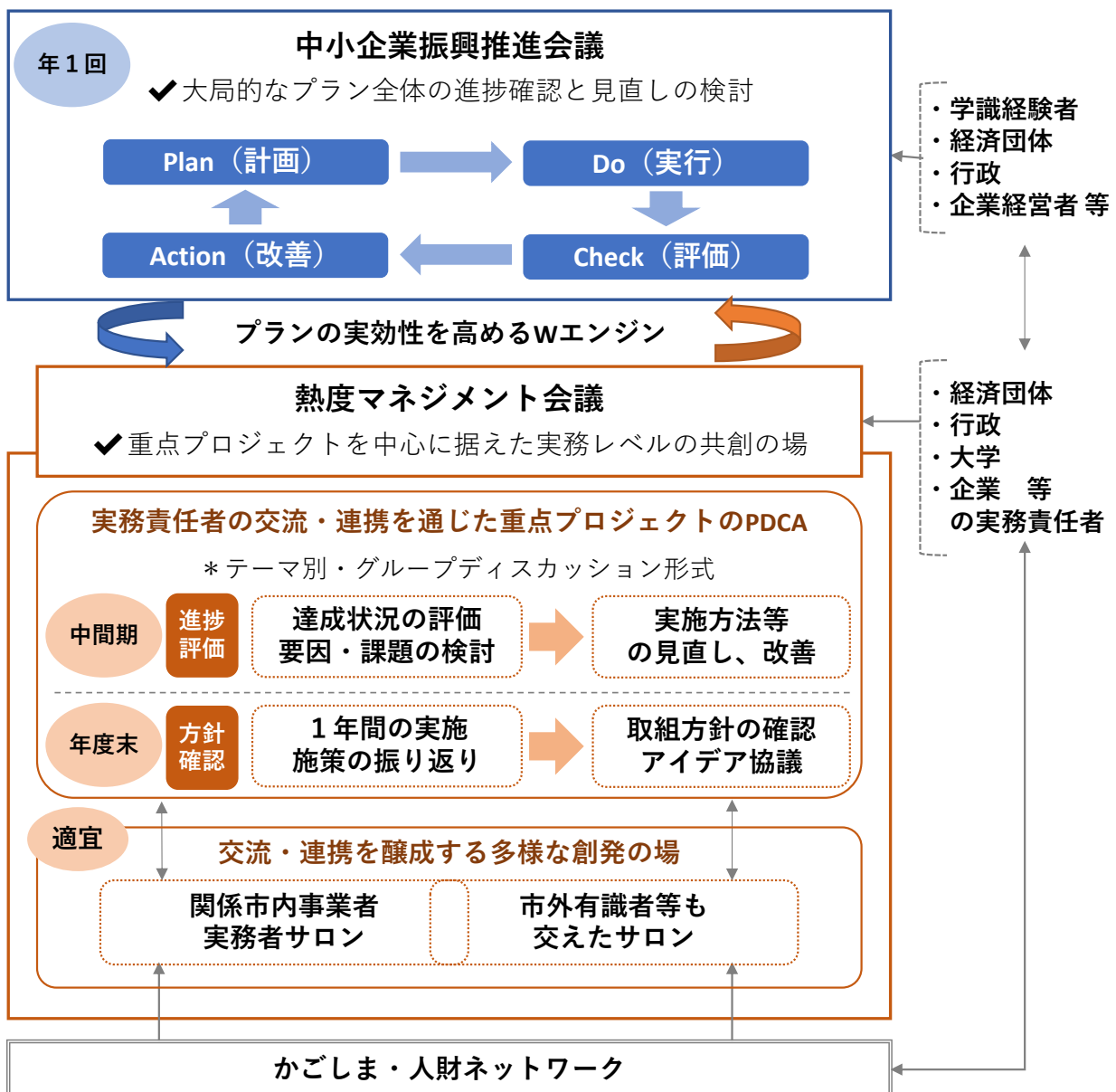
【内容(予定)】

- 参画メンバーの喫緊の課題の共有と、その解決に向けた取組の検討(定例会議)
- 重点プロジェクトに関する各主体の取組状況・取組課題等の共有(定例会議)
- 重点プロジェクトに関するより効果的な取組等の検討・展開(定例会議)
- それぞれの立場における問題意識・課題等の共有・意見交換等(サロン)
- その他、関連プログラムの企画・運営(サロン)

！ 熱度マネジメント会議～「熱度」を高めるための運営のポイント

- ① それぞれの立場での問題意識や課題などについて議論を交わすことを通じて、新たな気づきや明日への活力を実感できる緩やかなコミュニティを形成し、自発的・主体的なコミュニケーションが様々に行われるような関係性を醸成していくことを重視します。
- ② 各重点プロジェクトについて、それぞれの立場でできることを持ち寄り、より効果的な進め方、必要な取組、具体的な連携方策等のアイデア出しや関係者目線のすり合わせを行い、「確かな取組実感」をとまなう(各重点プロジェクトに関連する)各々の取組に繋げていくことを重視します。

本プランの管理・推進手法 全体像



●重点プロジェクト<令和4年4月～令和9年3月>

本プランの目指す将来像の実現に向けた取組を牽引する役割として、アフターコロナも見据えて、4つの施策の柱に基づく主な取組のうち、重点的に展開する取組を重点プロジェクトとして設定します。

令和4年度から令和8年度までの5年間を目標期間とします。

<重点プロジェクト>

“地域の稼ぐ力”向上プロジェクト

「稼ぐ力」とは、自らの経済的活動に価値を生み出す(=価値を捉え直し、磨き上げる)力、生み出した価値が多くの人に求められるように伝える力です。

「地域の稼ぐ力」を高めるためには、様々な交流・連携を通じて、ひと・企業の“熱”が高まり、ひと・企業の具体的な行動に繋げることが必要です。

このような具体的な行動の一つでも多く誘発し、大きな環境の変化に直面している難しい状況においても、事業主の業況感が少しでも改善する、市内就業者の働きがいも高まる状態を目指します。そして、これらの動きが、外のひとに、魅力的で活気があるように感じられる状態を目指します。

重点プロジェクト“地域の稼ぐ力”向上プロジェクトは、4つの施策の柱に基づいて、以下の4つのプロジェクトで構成します。また、重点プロジェクト全体について、「熱度マネジメント会議」において施策・事業の進捗を細やかに確認するとともに、それらの見直しや改善方策等を検討・推進します。



1 高付加価値な産業を創出する企業・人材の育成支援プロジェクト

施策の柱①

目指す状態

競争力の高い新事業・新サービス・新製品を生み出す企業や人材が増える

主な取組内容

- ① 技術開発・事業化、事業のイノベーションに取り組む企業の産学官連携による支援
- ② 急成長を目指す企業や起業家の育成支援
- ③ クリエイティブ産業・人材の育成支援



▶▶▶ 特に着目する主要指標(施策の柱①の主要指標のうち)

主要指標	現況(R2)		目標(R13)
新たな事業展開に取り組む事業者数	17 事業者	➡	220事業者
新事業・新サービスへの取組数	2 件	➡	70 件
本市支援による新規創業者数	33事業者	➡	360 事業者

2 地域産業の生産性向上・安定化プロジェクト

施策の柱②

目指す状態

企業の生産効率や利益率が上がる、企業の情報化が進む、円滑な事業承継が進む

主な取組内容

- ① 自社の強みの再認識と強みを生かした経営力強化支援
- ② 中小企業のデジタル化(経営合理化)支援
- ③ 実情に応じた円滑な事業承継支援
- ④ 事業活動の持続化支援



▶▶▶ 特に着目する主要指標(施策の柱②の主要指標のうち)

主要指標	現況(R2)		目標(R13)
先端設備等導入計画の認定件数	14 件	➡	180件
事業所数	27,279 事業所 (H28)	➡	27,300 事業所 (R8)

3 海外取引拡大プロジェクト

施策の柱③

目指す状態

企業の海外展開に関する関心が広がる・深まる、輸出に取り組む企業が増える、企業の海外への販路が広がる

主な取組内容

- ① 海外マーケットのマーケティング強化支援
(海外マーケットのセミナー等)
- ② 海外取引機会の拡充(商談会、バイヤーマッチング等)



▶▶▶ 特に着目する主要指標(施策の柱③の主要指標のうち)

主要指標	現況(R2)		目標(R13)
関連セミナー参加状況	15社(R元)	➡	145社
海外の見本市等への延出展事業者数	12社	➡	250社
本市の事業活用による海外展開を伴う商談成約件数	10件	➡	160件

4 若者の地元定着促進プロジェクト

施策の柱④

目指す状態

企業の人材確保に関する不安感が緩和される、本市で働く若者が増える、就業者満足度が上がる、UIJターンが増える

主な取組内容

- ① 若者の感性を生かしたかごしまビジネスチャレンジの推進
- ② インターン・就職活動円滑化・良質な就職マッチングの推進
- ③ 市内企業の魅力再発見・発信、就労環境向上の推進



▶▶▶ 特に着目する主要指標(施策の柱④の主要指標のうち)

主要指標	現況(R2)		目標(R13)
鹿児島公共職業安定所(ハローワークかごしま管内)の新規学卒者の県内就職率	65.1%	➡	67.9%
本市の移住関連施策を通じた移住者数	121人/年	➡	10年間で1,200人